

私の視点

日本貿易振興会アジア経済研究所研究員

かとう がく



外務省は鈴木宗男議員のもたれ合いを巡る疑惑騒動は、外務省所管の巨大なODA（政府の途上国援助）にからむ利権の隠れた構造を暴露しつつある。ODAは選挙の票につながらないので外務省には族議員ができにくいくらい定説を裏切り、鈴木議員は地元の北海道に公共工事を呼び込むのと同じ手法で外務省所管のODAを利用し、政治献金と票を集めることに成功し

◆ODA
の一般会計予算で53389億円。ODA予算総額の約60%を占めている。前年度に比べ全体では10・3%削減されたにもかかわらず、外務省予算はわずかに3・2%削減されたにすぎなかつた。その裏には鈴木議員の尽力があつたと報道されている。

技術統事の翻訳算な体

制は何ら改善されることなく温存された。ODA予算は各省庁の分振り合戦に弄され、相変わらず全体調整がないまま、各省ODA予算が似たような業につき込まれる状況が続いている。

◆ODA今こそ執行機関の一元化を

たようだ。地元の業者や政
治献金した業者に北方領土
やケニアでの施設建設工事
を優先的に請け負わせたと
いう疑惑は、外交手段とし
てのODA予算が伝統的な
土建国家的発想で利用され
ていた現状を知らしめた。
外務省に割り当てられて
いるODA予算は、02年度
予算

に97年に、ODAを一元化に執行するための国際協定の設置案が経団連から内閣に提出され、外務省の上昇した時も、外務省は鉛筆議員の尽力でその提案をねじ伏せ、省庁再編を防ぐに成功したといふ。

轄の国際協力事業団（JICA）だけでなく、経済産業省、厚生労働省などがそれぞれ独自の特殊法人や団法人を設けて行っている。こうした状況も縦割り行政の中で数存在し、重複した業務を行っている。

管 球
そ そ 財 币 陸 I
総割りによる数合わせで
判された。円借款の実施地
関である海外経済協力基
(OECE)と日本輸出銀
行の統合、途上国研究所と
関のアジア経済研究所と日本
貿易振興会との統合につ
いては、日本の援助政策の
向上という視点で論議した
場合、その賛否が分かれて

とも限らない。
鈴木議員の庇護と呪縛から外務省が逃れた今、外務省をして本来の外交に専念させるため、そしてODA予算を効率的に運用し援助政策の質的向上を促すためにも、私たちは、ODA執行機能を外務省から分離し、各省廳に分配されたO

は、ODA予算の効率運用を妨げるばかりか、総合的な援助政策の立案・実施を困難にしており、援助の効果自体を弱めかねない。

しかし、政府が一連の特殊法人改革の中で行つてきただことは、ODAの質的向上をめざした関連特殊法人の整頓統合ではなく、省庁外務省を通じODAの権利を利用してきたとみられる鈴木議員は、自民党対する経済協力特別委員長を辞任した。しかし、外務省の本的な体質改善がないままで巨大なODA利権を残していくには、新しい旗議員がつまたそこに巢を作らなければならぬ。いわゆる「ODAの効率化」が、まさにこの問題である。

投稿規定 1,500字程度
度。住所、氏名、年齢、職業、
業、電話番号を明記し、正
104・801-1 刑事新聞
社企画報道室「私の視点」
係へ。電子メールはsiten
@ed.asahi.com 1)電
投稿、採用の際に必要な
に遠慮下さい。本社電子メ
ディアにも収録します。原
稿は返却しません。